



神奈川歯科大学附属病院

ニュースレター

2022年9月1日発行 7号

New

診療科長・教授のご紹介

歯周病診療科長 教授 小牧基浩
障がい者歯科科長 教授 小松知子



歯周病診療科長
教授 小牧基浩

令和3年11月付で歯周病学の教授を拝命しました小牧 基浩と申します。私は、平成3年に神奈川歯科大学歯学部を卒業し、直ちに東京医科歯科大学大学院歯学研究科に入学し、BMPによる骨芽細胞分化と転写調節に関する研究に取り組みました。米国ワシントン大学と加国トロント大学での6年間はセメント質と幹細胞に関する研究に没頭し、留学後は、学術振興会特別研究員として大学院生指導をしながら歯周病専門医を取得しました。臨床では26年ぶりの神奈川歯科大学、浅学の身ではありますが、当教室員と横浜クリニックの皆さんと力を合わせ、本学のさらなる発展に全力を尽くしたいと思います。皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



障がい者歯科科長
教授 小松知子

人生100年時代といわれる超高齢社会の医療技術の進歩や医療ケアの充実により、障害のある人たちの高齢化も進み、障害の多様性に対して、個々の歯科的ニーズに応えていくことが求められています。本学附属病院障がい者歯科は、エビデンスに基づいた治療と患者様との対話を重視する歯科医療を心がけ、療育、福祉、行政などとの多職種連携による最先端の高度な歯科医療を提供できる地域の中核的な歯科医療機関としての役割を果たしたいと思います。障害のある人も、高齢者もともに両立させた歯科医療を実践し、口腔の健康を維持し、楽しく食事をする事で、しっかりと口から栄養を摂取しながら生き生きと暮らせる地域社会の実現に寄与できるよう努めてまいりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

開院5周年を迎えるにあたり

病院長 井野 智

“新病院”とはいいながら、早いもので本年11月には、5周年を迎えることになりました。お陰様で、歯科大病院でありながら医科部門：画像診断科（MRI検査等）・内科（いびきと睡眠時無呼吸外来、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、消化器内科・便秘外来、高齢者・もの忘れ外来）の強化により、外来における医科患者数（同収入）は、開設以来、右肩上がりに増加しており、現在では、当院全体の約10%を占めるほどになりました。特に、MRIによる脳ドックや胃・大腸カメラ、超音波による肝硬度検査等の検査部門はご好評いただき、リピート率も高くなっております。これもひとえに、地域医療機関の皆様方のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。長引くコロナ禍にあって、当院スタッフの疲労もピークを迎えていますが、決して無理をせず、何よりも来院するすべての方に「歯科大病院に行くのは楽しみ！」と言ってもらえるよう、今後も知恵を絞って色々なことにチャレンジしながら、医科と歯科が連携した三浦半島の医療機関として貢献していきたいと考えております。引き続き、皆様方と情報共有して参りますので、是非、忌憚のないご意見、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

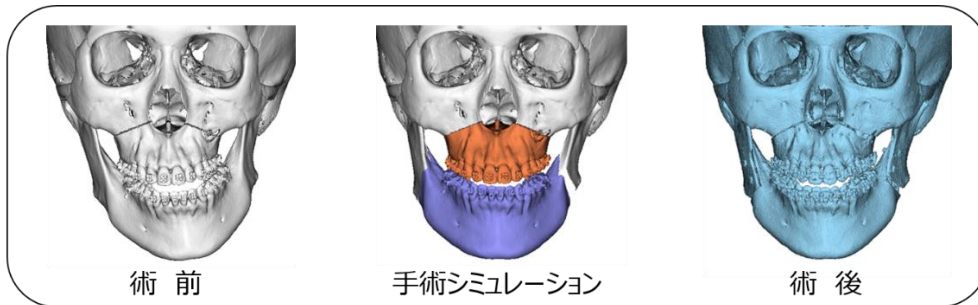


顎変形症について

口腔外科准教授 鈴木健司



近年、医用画像処理技術は著しい発展を遂げています。顎変形症の分野においても、CT 画像を用いることで、より正確な診断、治療計画および治療技術を患者様に提供できるようになってきました。神奈川歯科大学附属病院では CT および口腔内スキャナーによる 3D 画像と CAD/CAM 技術を用いた手術支援システムを独自に開発し、その精密性、有用性および安全性に関して、これまで多くの学会や学会雑誌等で発表してきた実績があります。本システムを用いた一例を以下に示します。左側偏位を伴う骨格性下顎前突症で、水平的な咬合平面の傾斜も伴っていたため、下顎骨形成術（下顎枝矢状分割術：SSRO）と上顎骨形成術（Le Fort I 型骨切り術、吸収性プレート固定）を行いました。手術シミュレーションと術後の差（手術誤差）についても検証を重ねてきましたが、臨床的に十分な許容範囲内であることが確かめられています。



また、当院での顎変形症手術症例数は年々増加傾向で、昨年度は 70 件（SSRO 単独が 42 件、Le Fort I + SSRO が 28 件）でした。約半数は、関連施設や横浜市・川崎市といった関東エリア内の矯正歯科専門開業医の先生方からのご紹介患者様で、自院でご購入された 3D システムや従来のペーパースージェリー/モデルサージェリーを用いての顎位設定や手術方針についてのご相談もメールで承っております。

当科といたしましては、患者様へ安全、安心、そして質の高い医療サービスの提供を常に心掛けております。その一環として、患者様には電話一本でお待たせすることなく、スムーズな診療を受けていただける以下のような体制を取っております。ご不明な点がございましたら遠慮なく電話またはメールにてご相談ください。

患者様を中心とした医療の提供を開業医の先生方とともに行えたらと考えております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

ご紹介患者様の診療の流れ

1. ご紹介元医療施設（顎口腔機能診断料算定指定医療機関）
 - ・検査、診断
2. 患者様が口腔外科に電話予約
 - ・患者様に持参していただく書類
 - 1) 紹介状
 - 2) 顎口腔機能診断説明書（以下の項目は未記入でお願いします）
 - ①口腔外科医が記載する項目：連携保険医療機関名、担当医名
 - ②患者様が記載する項目：患者氏名
3. 口腔外科初診
 - ・手術説明
 - ・顎口腔機能診断説明書の未記入項目にサイン
4. 術前矯正治療開始・終了
5. 患者様が口腔外科に電話予約
6. 口腔外科再診
 - ・手術日決定

* ご相談先 電話：046-822-8895 神奈川歯科大学附属病院口腔外科外来
 メール：k.suzuki@kdu.ac.jp 神奈川歯科大学附属病院口腔外科 鈴木健司

難治性根管治療への対応

マイクロスコープ診療科長 石井信之



マイクロスコープ診療科は、歯内療法を行っても臨床症状が改善されない他院からの紹介症例に対して、疾患原因の解明と原因に対する適切な治療を行い、原因歯の保存を積極的に実施しています。

難治性根管治療への対応：

歯内療法領域の難治療症例は、複数回の治療を行っても臨床症状が改善されない症例です。マイクロスコープ外来は、痛みを伴う難治療症例が近隣歯科医院から紹介され来院しています。

難治療症例の原因は、主に根管内感染源の残存です。根管内感染源の残存症例は、①複雑な根管形態を有する歯、②歯根の破折(亀裂)、③根管の穿孔、④ファイルの破折、さらに、従来は使用されていたが、現在は⑤使用中止が強く推奨されているホルマリン系薬剤(ペリオドン、FC)による疼痛症例などが相当します。特に②歯根の破折(亀裂)と③根管の穿孔症例は、エックス線では診断が不明確で痛みの原因が不明とされ、通常の歯内治療を継続しても症状改善が認められません。マイクロスコープ診療科では、拡大視野で根管内観察が可能になるため、難治療症例の原因が歯根破折(亀裂)、根管穿孔等であることが判明し、原因が判明した症例に対して適切な歯内療法を行い治療に導きます。

歯内療法領域の難治療症例

【ファイル破折 & 根管穿孔症例に対する治療症例】



【歯根破折歯に対する MTA による治療症例】



【歯根破折歯に対する根管内接着治療症例】https://doi.org/10.20817/jeajournal.31.3_182



マイクロスコープ診療科への紹介症例は、すべて自費診療で対応します。

マイクロスコープ外来への紹介症例は、自費診療対応です。

マイクロスコープ診療科の設定自費料金

- ① 相談料：5,720 円、診断料：17,160 円
- ② 抜髄・感染根管治療
大臼歯：114,000 円、小臼歯：80,080 円、前歯：57,200 円
- ③ 穿孔部封鎖(封鎖材料を含む)：①に加えて別途 34,320 円
- ④ 根管内異物除去：①に加えて別途 34,320 円
- ⑤ 歯根破折(亀裂)歯の保存：①に加えて別途 34,320～57,200 円
- ⑥ マイクロスージェリー(歯根尖切除等)

大臼歯：160,160 円、小臼歯：137,280 円、前歯：114,400 円

マイクロスコープ診療科スタッフは、正確で確実な診断と治療を目指して近隣歯科医院や国民からの高い信頼とニーズに応えられるように日々研鑽を重ねています。

【問合せ先】：マイクロスコープ診療科 電話 **046-822-8880** [3 階診療科受付]



便利になった人間ドック

歯科医師国保加入者の人間ドックについて

神奈川歯科大学附属病院では、2022年11月より、歯科医師国保組合員およびご家族の方(35歳以上)、後期高齢者組合員の方を対象に、歯科医師国保補助金制度を利用した人間ドックの受診ができるようになります。当院の推奨コースでは、組合員の方は、全額補助金負担(自己負担なし)で受診できます。

この機会に、院長様をはじめ、従業員スタッフへの福利厚生の一環として、ぜひご活用ください。

◇ 契約料金(税込み) 40,000 円 (通常料金 48,730 円)

【検査項目】

- 腹部超音波 ●上部消化管内視鏡検査 ●診察(問診・血圧・身体計測) ●聴力検査
- 視力・眼底・眼圧検査 ●心電図 ●呼吸機能検査 ●血液検査 ●腫瘍マーカー検査
- 検尿 ●検便

◇ 補助金額

組合員の方:40,000 円以内

ご家族の方:30,000 円以内

*人間ドック契約料金から補助金額(組合員 40,000 円以内・家族 30,000 円以内)を差し引いた残りの金額がご本人負担となります。

*契約以外のオプション検査等を受診した場合の費用は、自己負担となります。

◇ 特定健診について

40 歳～75 歳未満の方は、契約料金内で、特定健診も併せてご利用することができます。

◇ お問い合わせ先 046-822-8810(健診・ドック担当 座間・代田)

地域連携室から

神奈川歯科大学附属病院では地域連携室で他医療機関からのご紹介や患者様からのご相談、予約管理に対応させていただきます。

お気軽にご相談下さい。

〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877

FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

